

# 日本福祉施設士会 平成 24 年度事業報告

## 1. 組織強化

### (1) 会員増に向けた取り組み

平成 24 年度当初の会員数 1,480 名に対し、同年度中の入会者は 59 名（福祉施設長専門講座 36 期修了生 47 名、それ以前の修了者 12 名）、退会者は 154 名（内 34 名が会費未納入による退会）となり、平成 24 年度末時点の会員数は 95 名減少し、1,385 名となった。

#### ① 福祉施設長専門講座修了者への情報提供及び加入促進

- ・ 第 37 期（平成 24 年度）講座第 1 回・第 2 回面接授業において、正副会長が受講者に対し、本会事業の目的や活動内容と成果について説明した。
- ・ 第 37 期講座修了者 110 名に対し、平成 25 年 2～3 月にかけて本会の入会案内を送付し、加入促進を行った。

#### ② 福祉施設長専門講座受講者への情報提供

- ・ 中央福祉学院と連携し、本会が主催する研修会の案内及び会報を第 37 期受講者に送付した。
- ・ 本会主催の研修会への第 37 期受講者ならびに受講者在籍施設職員の参加は 19 名となった。

〈参加状況〉

- ・ 全国福祉施設士セミナー：6 名（参加者 193 名）
- ・ 第 1 回施設長実学講座「福祉施設の経営戦略」：3 名（参加者 96 名）
- ・ 第 2 回施設長実学講座「管理者に求められるコンプライアンス」：3 名（参加者 71 名）
- ・ 第 3 回施設長実学講座「福祉施設の人事管理」：4 名（参加者 73 名）
- ・ 「福祉 Q C」全国発表大会：2 名（参加者 160 名）
- ・ 「福祉 Q C」入門講座：1 名（参加者 105 名）

#### ③ ホームページによる情報提供

ホームページにおいて、本会及びブロックが主催する研修会等の活動に関する情報提供を行った。

### (2) 組織強化に向けた取り組み

#### ① ブロック・都道府県活動にかかる情報提供

会報「福祉施設士」において、ブロック活動報告を計 9 件掲載した。あわせて、都道府県福祉施設士会活動報告を募集し、計 3 件の研修会開催報告等を掲載した。なお、ホームページにおいても同様の内容を掲載した。

#### ② 「福祉施設士」の認知の向上に向けた会員名刺・在籍施設表示板の周知

会員名刺の普及を図るため、本会主催の研修会ならびにホームページにおいて会員

名刺、在籍施設表示板の案内を行った。会員名刺については、新規入会者全員に無償送付するとともに、8名（13セット）の会員に有償頒布を行った。在籍施設表示板は4名（9個）の会員に有償配布を行った。

③ 会員名簿の作成

隔年で作成している会員名簿（平成23・24年度版）を6月に作成し、会員及び各県組織事務局に送付した。

**(3) 都道府県組織・ブロック組織の支援**

① 会費還元の実施

都道府県組織の強化を図るため、平成25年2月末日までの会費納入者1名あたり1,000円の会費還元を平成25年3月28日に実施した（計43都道府県）。

② 会報の無償配布

都道府県組織に広報用の会報を無償送付した（各7部）。

③ ブロックセミナー開催に対する助成(1ブロック 150,000円)の実施

ブロックセミナー開催にあたり、全7ブロックに対し150,000円の助成を実施した。

④ 役員の派遣及び講師の紹介

役員の派遣を以下のとおり行った。

ブロック	開催県	日程	派遣役員	参加者数
北海道	北海道	9月13日～14日	森田会長	48名
東北	青森県	10月19日～20日	森田会長	102名
関東甲信越静	山梨県	10月29日～30日	なし	148名
東海・北陸	石川県	2月5日	森田会長	33名
近畿	大阪府	10月25日～26日	森田会長	103名
中国・四国	山口県	4月9日～10日	森田会長	81名
九州・沖縄	鹿児島県	9月14日～15日	前田副会長	78名

(合計 593名)

**2. 生涯研修事業の推進**

**(1) 第34回全国福祉施設士セミナー**

- ・開催期日：平成24年7月4日（水）～5日（木）
  - ・会場：全社協・灘尾ホール、会議室（東京都）
  - ・テーマ：「新時代の社会福祉施設のあり方  
～公益的・公共的な存在としてあり続けるためには～」
  - ・参加者数：193名（定員200名）
- ※ 分科会にて計9件の会員施設実践発表を行った

## (2) 施設長実学講座

事業計画に基づき計3回開催した。

〈第1回〉「福祉施設の経営戦略」

- ・開催期日：平成24年8月23日（木）～24日（金）
- ・会場：全社協・会議室（東京都）
- ・参加者数：96名（定員90名）

〈第2回〉「管理者に求められるコンプライアンス」

- ・開催期日：平成24年10月18日（木）～19日（金）
- ・会場：全社協・会議室（東京都）
- ・参加者数：71名（定員90名）

〈第3回〉「福祉施設の人事管理」

- ・開催期日：平成24年12月11日（火）～12日（水）
- ・会場：全社協・会議室（東京都）
- ・参加者数：73名（定員90名）

## 3. 調査研究事業の実施

平成23年度に実施した「福祉施設士実態調査」の結果を踏まえて、「福祉施設士行動原則」をとりまとめた。

## 4. 広報・情報提供体制の強化

### (1) 会報『福祉施設士』の発行（年6回）

会報『福祉施設士』を計6回（隔月）発行した。特集の年間テーマを「福祉施設における災害対策・対応」とし、6つの会員施設からの報告を掲載した。

### (2) ホームページによる情報提供

ホームページにおいて、本会主催の研修会、ブロックセミナー等の案内を行うとともに、本会活動にかかる最新情報の提供に努めた。

## 5. 「福祉QC」活動の普及

### (1) 研修事業の実施

事業計画に基づき下記研修会等を開催した。

#### ① 第23回「福祉QC」全国発表大会

- ・開催期日：平成24年11月21日（水）～22日（木）
- ・会場：全社協・灘尾ホール、会議室（東京都）

- ・発表事例：41 件
- ・参加者数：160 名（発表者 91 名、一般参加者 69 名／定員 200 名）

## ② 第 17 回「福祉QC」入門講座

- ・開催期日：平成 24 年 6 月 18 日(月)～20 日(水)
- ・会 場：東京ファッションタウンビル（東京都）
- ・参加者数：105 名（定員 140 名）

## ③ 改善（福祉QC）活動 サークル個別指導講座

- ・開催期日 平成 24 年 6 月～平成 25 年 3 月
- ・会 場 関東甲信越静岡ブロック（埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県）、九州・沖縄ブロック
- ・受講サークル数 関東甲信越静岡ブロック：21 施設 25 サークル  
九州・沖縄ブロック：7 サークル（内会員 3、医療系 4）

## （2）「福祉QC」活動の普及・定着に向けた取り組み

- ・ホームページにおいて「福祉QC Q&A」等の情報を掲載するとともに、会報『福祉施設士』において「福祉QC」活動関連記事を掲載した。

## 6. 全社協事業への参画

- ・政策委員会には、前田光泰副会長が委員として参画した。
- ・国際社会福祉基金委員会には、森田弘道会長が委員として参画した。
- ・福祉施設長専門講座運営委員会には、高橋紘副会長が委員（副委員長）として参画した。

## 7. 会務の運営

代議員会、理事会、正副会長会議及び各委員会を以下のとおり開催した。

〈開催状況〉

- ・代議員会（2 回）5 月 8 日、3 月 14 日
- ・理事会（2 回）5 月 8 日、8 月 31 日
- ・常任理事会（2 回）5 月 8 日、3 月 14 日
- ・正副会長会議（2 回）6 月 25 日、2 月 3 日
- ・総務委員会（2 回）12 月 20 日、3 月 4 日
- ・生涯研修委員会（2 回）12 月 17 日、2 月 19 日
- ・調査研究委員会（3 回）10 月 2 日、12 月 5 日、3 月 5 日
- ・広報委員会（2 回）12 月 18 日、2 月 13 日
- ・「福祉QC」全国推進委員会（3 回）5 月 7 日、10 月 17 日、2 月 8 日
- ・監事会（1 回）4 月 27 日